

注射薬払出装置 各ユニットを組み合わせ、運用に最適な構成をご検討いただけます。

ユニット名称	ユニットサイズ W(幅)×D(奥行)×H(高さ)	重量(kg)	最大定格 電流(A)	搭載薬品
アンプル・バイアル払出ユニット (149カセット仕様)	1,000 × 1,000 × 1,800	647	13.0	Φ10 mm ~ 36 mm, h30 mm ~ 120 mmのアンプル及びバイアル カット済み5連プラスチックアンプル搭載可能
アンプル・バイアル払出ユニット (124カセット仕様)	1,000 × 1,000 × 1,800	635	13.0	Φ10 mm ~ 36 mm, h30 mm ~ 120 mmのアンプル及びバイアル カット済み5連プラスチックアンプル搭載可能
アンプル・バイアル払出ユニット (106カセット仕様)	1,000 × 1,000 × 1,800	623	13.0	Φ10 mm ~ 36 mm, h30 mm ~ 120 mmのアンプル及びバイアル カット済み5連プラスチックアンプル搭載可能
ブラボトル払出ユニット	900 × 1,000 × 1,800	400	8.8	50 mL ~ 100 mLのブラボトル(TN含む)。6段、8列、480本以上
キット払出ユニット	1,100 × 1,000 × 1,800	550	18.0	キット薬品 標準:10棚 200本
ラベル・注射せん投入ユニット	750 × 1,000 × 1,800	300	20.0	各種ラベル及び注射せんの自動投入。操作用タッチパネル搭載
トレイ供給ユニット	595 × 1,000 × 700	167	4.2	50個の空トレイ搭載可能。増設オプション有り
完了トレイユニット (コンベアタイプ)	2,020 × 1,000 × 900	254	6.7	完了トレイの段積み及び、ストップ
トレイ自動収納移動ユニット (2列、3列、4列カート対応)	845 × 1,000 × 1,800	300	9.2	完了トレイのカートへの自動収納移動。緊急払い出し対応
トレイ自動収納移動ユニット (3列カート専用)	1,246 × 1,242 × 1,800	400	11.0	完了トレイのカートへの自動収納移動。緊急払い出し対応

※装置への電源供給は、単相AC 100 V (20 A) が4系統必要となります。
※実負荷は最大定格電流の50% ~ 60%が目安となります。

注射管理部(推奨動作環境)

払出サーバー	ハードウェア	CPU	Xeon® E3-1240 v3 (3.40 GHz) 以上
		メモリ	4 GB以上
払出操作端末	ハードウェア	HDD	300 GB × 3以上
		DB	Oracle11 g以上
プリンター	ソフトウェア	CPU	インテル® Core™ i3-3220 プロセッサ (3.30 GHz) 以上
		メモリ	2 GB以上
プリンター	ソフトウェア	HDD	250 GB以上
		DB	Oracle11 g以上
		Office	MS Excel2010以上
		Office	MS Excel2010以上
プリンター	ソフトウェア	注射せんプリンター	サーマルプリンター
		ラベルプリンター	サーマルプリンター
		取り揃えプリンター	レーザープリンター
		レポートプリンター	レーザープリンター

※Microsoft および Excel は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
※Xeon および Intel は米国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
※Oracle は Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。

※諸元は予告無く変更される事があります。
※必要電源は単相3線式AC 100 V 20 A × 2本です。

注射薬カート (ネスティングタイプ)

※ネスティングタイプは、3列タイプのみとなります。
※ネスティングタイプを使用する場合、他のタイプとの混在はできません。
※トレイ自動収納移動ユニットは、3列カート専用となります。



安全に関するご注意

●ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

保証書に関するお願い ●商品には保証書を添付しております。ご購入の際は、必ず保証書をお受取のうえ、保存ください。尚、店名、ご購入期日の掲載のないものは無効となります。
・製造番号は安全確保上重要なものです。お買上げの際には商品本体に製造番号が表示されているか、また保証書記載の製造番号と一致しているかお確かめください。

補修用性能部品保有期間 当社は、本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しております。

●お問い合わせは、

PHC株式会社
バイオメディカ事業部
〒105-8433
東京都港区西新橋2丁目38番5号

薬局システム営業所 TEL 03-5408-7276 FAX 03-5408-0874
薬局システム営業所(中部) TEL 052-551-0822 FAX 052-551-3490
薬局システム営業所(近畿) TEL 06-6136-1419 FAX 06-6136-1449
薬局システム営業所(九州) TEL 092-292-7719 FAX 092-291-5353

このカタログの記載内容は
2018年4月現在のものです。

1609 B 5760

●製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。●製品の定格およびデザインは予告なく変更する場合があります。
●実際の製品には、ご使用上の注意を表示しているものがあります。●画面はハメコミ合成のイメージです。



注射薬の払い出しにかかる業務の効率化を支援します。

安全に薬品を払出したい

間違った薬品を払い出したことを検知する機能を搭載。薬品バーコードの利用や各種情報の記載により、より安全な薬品の払い出しに貢献します。

時間を有効に使いたい

煩雑になりがちな注射薬の払い出し業務。オートメーション技術を最大限活用して、現在の払い出し業務の煩雑さを改善することで、薬剤部門のみならず、病棟などの薬剤業務の効率化に繋がります。

運用を最適化したい

運用や設置スペースに合わせて、必要なユニットを選択。トレー搬送の流れは「左から右」、その反対の「右から左」のどちらでもシステムを構成することが可能で、自由度の高い設置が実現します。

医療安全への貢献

薬品バーコードを使った、アンプルバイアルの誤払い出しの検知やスキャナによる薬品装填、未搭載薬品照合など払い出し薬品の間違い防止に貢献。
また、混注の際の混ぜ合わせる量や各種情報の注射せんなどへの記載により、安全性の向上に貢献します。

信頼性の高い安定稼動

ファクトリーオートメーション業界で培ったPHCのオートメーション技術を駆使して、高速で正確、かつ安定した稼動が可能です。(薬品破損率5万本に1本以下※1)

※1 当社納入実績値による

多彩な品種の容器に対応

アンプル、バイアルのみならずプラボトル、キット薬品にまで対応するラインアップです。

700施用/時間以上の高速払出※2

上位システムからオーダーデータを受け取り、患者様別の個人トレーに注射薬、注射せん、ラベルを高速に払い出すことが可能です。

※2 当社納入実績値による(施用単位での払い出し)

業務効率を上げるための構成、機能を提案

アンプル、バイアル、プラボトルなど、払い出し量に応じたユニット構成を提案します。また、払い出したトレーを自動的にカートへ移載することにより、鑑査業務を分散化しスペースの有効活用が可能になります。

調剤から投与までの業務をきめ細かく支援

薬品払い出し

- ・処方区分: 定期、臨時、緊急、定数補充、ケモ、TPNなど
- ・払い出し先: 病棟、外来処置室、透析室、外来ケモ室など
- ・異なる医師からの複数の注射オーダーを患者単位にまとめて払い出し可能
- ・装置から払い出されない薬品は、取り揃えリストに基づき取り揃え

注射せん・ラベル

- ・注射せん、ラベルの印字内容やレイアウトは運用に合わせて作成可能
- ・各種取扱時の注意事項などの情報も印字可能(マスターに登録)
- ・注射せん、ラベル以外の帳票も必要に応じて作成可能

ミキシング業務

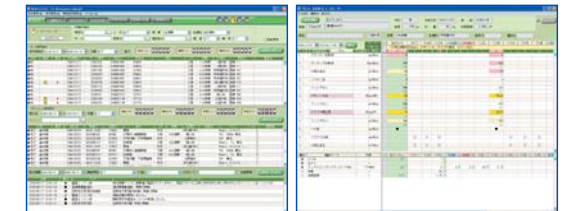
- ・処方の中でTPN、ケモに該当するRpを別に抜き出して払い出しが可能
- ・固体/粉末それぞれの薬品に対して、注射せんや混注指示せんなどに引抜き量、全量、濃度、注意コメントなどの情報を印字することが可能

管理業務

- ・特定生物由来製品の合成シンボルを読むことでロット番号の登録、有効期限のチェック、特生物管理せんの出力、実施確認が可能
- ・各種統計情報の出力が可能

オプション/レジメンチェックシステム(処方リスクマネージャー)

- 主な機能
 - ・柔軟なレジメン定義が可能
 - ・レジメンチェック項目……投与薬品、スケジュール、累積投与量、1日投与量
レジメン外処方、中止期間中の処方
 - ・柔軟なレジメン操作……レジメン割り当て操作、クール追加・削除
休業日の追加・削除、レジメンの中止、中止解除
- 使いやすいユーザーインターフェース
- ユーザー認証と電子検印機能、トレース機能
- データの活用(治療実績に基づくレジメンの改善など)



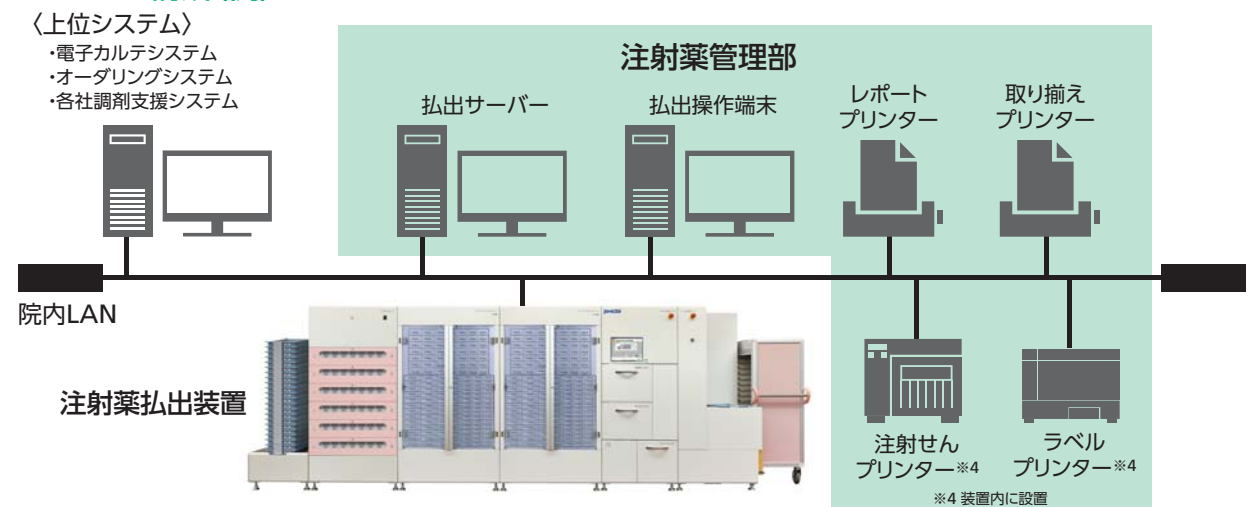
オプション/薬品バーコード照合システム

- 注射薬払出装置への薬品補充時のチェック
- 非搭載薬の取り揃え時のチェック
- トレーへの非搭載薬の補充・検品時のチェック



ハンディターミナル
パナソニック システムネットワークス株式会社製

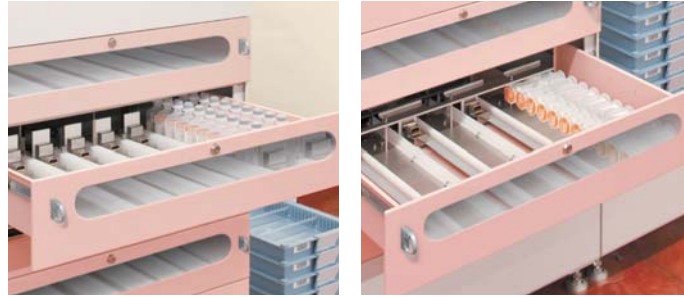
システム構成(例)



の効率化を支援します。

■プラボトル払出ユニット

- ・プラボトルタイプの輸液を480本以上搭載 (50 mL ~ 100 mL)
- ・キットHタイプの薬品も搭載可能

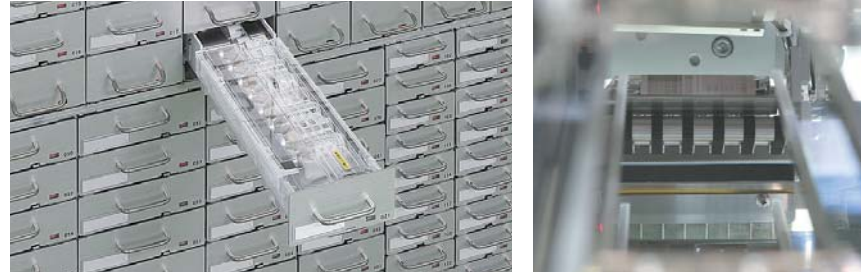


※イメージ画像はキットHタイプ

■アンプル・バイアル払出ユニット

- ・破損率は5万本に1本以下※3
- ・1ユニット 149、124、106カセットの3種類
- ・先入れ先出し、安定稼働、高速払い出し、在庫管理に最適な整列装填方式
- ・薬品カセットを取り出して薬品装填が可能
- ・搭載薬品変更は、ガイド等の調整のみで可能 (※一部特殊薬品を除く)
- ・薬品の装填量が一目でわかる窓付き
- ・薬品バーコード照合ヘッドによる誤装填薬の検知(オプション)

※3 当社納入実績値による

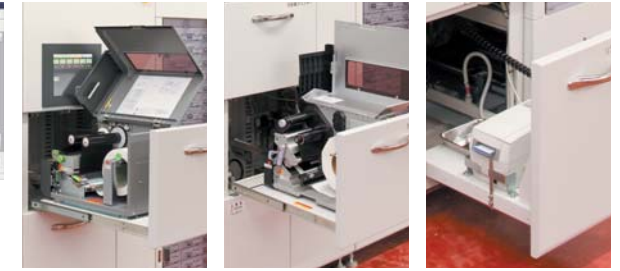


■ラベル・注射せん投入ユニット

- ・このユニットのタッチパネルにて装置全般の操作が可能
- ・注射薬が払い出されたトレーに注射せんとラベルを投入
- ・注射せんは、A5、A4カラー、A4モノクロに対応



【操作画面】



【注射せんプリンター】 【ラベルプリンター】 【リライトプリンター】 (オプション)

■トレー供給ユニット

- ・空のトレーを最大50枚ストック



■トレー自動収納移載ユニット

- ・薬品を払い出したトレーを、注射薬カートへ自動収納が可能
- ・トレーは払い出し後に大きな輸液を載せることを考慮し、段をずらして隙間を空けて、収納することが可能
- ・緊急・臨時の時は、定時払い出し中でも「緊急・臨時の取出し部」への排出が可能



■その他ユニット

■キット払出ユニット

- ・キット薬品の払出ユニット



■トレー自動収納移載ユニット (3列カート専用)

- ・3列タイプ専用のカートへの自動移載ユニット
- ・緊急・臨時の取り出し部も装備



■完了トレーユニット

- ・注射薬、注射せん、ラベルのセット完了トレーを段積みすることが可能



【コンベアタイプ】

- ・トレーの段積み量を増やせます。

■払出トレー

- ・トレーには、注射せんと施用ラベルなどの各種ラベルを、薬品とともに自動でセット
- ・トレー内を仕切ることができ、各エリアに対して処方別・施用別等の分けが可能
- ・また、週末の3日分払い出し運用でトレー枚数を節約するために、週末のみ各仕切りエリアに1日分ずつ払い出すことも可能
- ・オプションで電子カード、リライタブルカードの対応が可能



【A3浅底型トレー】(標準トレー)
内寸:248 mm × 348 mm × 47 mm



■収納移載ユニット専用注射薬カート

- ・2列、3列、4列など各病棟の払い出し量に応じたカートを選択可能



【2列タイプ】

【3列タイプ】